

大阪経済記者クラブ会員各位  
(同時配布：大阪市政記者クラブ)

## 「大阪の女性の活躍加速化」に向けた報告書の発行について

### 【問合せ先】

大阪市男女いきいき財団  
 沢田・吉峯 (TEL 06-7656-9040)  
 大阪市 市民局ダイバーシティ推進室 女性活躍促進担当  
 藤田・村上 (TEL 06-6208-7650)  
 大阪商工会議所 人材開発部研修担当  
 松井・吉田 (TEL 06-6944-6421)

女性の活躍促進に取り組む大阪商工会議所、大阪市男女いきいき財団(一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会)、大阪市の3者は、「大阪の女性の活躍加速化」に向けて、「女性の継続就労」や「女性の管理職登用」に必要な提案などをまとめた「大阪の女性の活躍加速化事業」実施報告書を3月30日に発行しました。

報告書では、企業4,000社を対象としたアンケート調査や、9社のヒアリング調査、働く・働きたい女性、企業などの多様な主体によるマルチステークホルダー会議「大阪女性の未来創造会議」の内容などを紹介しています。

今後、大阪における女性の活躍を促進していくために、大阪商工会議所では「企業における女性の発掘・戦力化支援事業」に取り組んで参ります。また、大阪市では「大阪市女性の活躍促進アクションプラン」を着実に実行していく中で、報告書の提案などに基づき「女性の継続就労」や「企業等の女性役員・管理職への登用」の促進・加速化に向けて取り組んでいきます。

### 《大阪の女性の活躍加速化に向けたポイント》

#### ○女性管理職がいる企業では、女性登用の効果について肯定的評価の高まりがみられる

企業調査では、女性管理職がいる企業とない企業の継続就労・管理職登用への取組みの差、そして、その取組みの効果についての肯定的評価の差が見られた。女性管理職がいる企業においては、女性の活躍促進の好循環をもたらしていることがうかがえた。

・女性登用の効果(女性管理職の有無別) 複数回答 (件数 / %)

	合計	女性従業員の労働意欲が向上した	組織・職場が活性化された
全体	969件 / 100.0%	312件 / 32.2%	209件 / 21.6%
管理職がいる企業	555件 / 100.0%	203件 / 36.6%	152件 / 27.4%
管理職がいない企業	344件 / 100.0%	86件 / 25.0%	48件 / 14.0%

※全体の数は、女性の継続就労・管理職登用の制度・取組みをひとつでも「実施している」と回答した企業数。

※全体の数と、管理職が「いる」「いない」の合計が一致しないのは、管理職がいる・いないが不明の企業があるため。

#### ○女性の活躍推進のためのキーワードは、国や行政による助成と個別企業の制度運用

女性の継続就労・管理職登用の制度・取組みについて、「出産・育児・介護のための休暇制度・短時間勤務制度」(50.2%)、「女性正規社員の中途採用(管理職以外)」(47.0%)、「年功的な処遇から、能力・成果に応じた処遇へのシフト」(46.0%)と、ワーク・ライフ・バランス支援、採用・職域拡大、人事評価などの制度・取組みが進んでいる一方で、企業の負担感も高い。

各企業が整えた制度を、企業側・働く従業者たちが相互理解を図りながら、意図と意思をもって“運用”し、また、国や行政が新しい助成を導入することにより、企業の負担感を軽減させ、制度の“運用を促進”するとき、企業レベルの女性の活躍が推進される可能性を示唆しているといえる。

以上